市報
平成5年
5月16日
第1368号
にいがた
発行日 毎週日曜日　発行 新潟市　〒951 学校町通1-602-1　編集 総務部広報課　印刷 ㈱第一印刷所

市の人口 〈4月末現在〉
人口 480,336人(+2472)
男 232,971人(+1467)
女 247,365人(+1005)
世帯数 169,519 (+2149)
住民基本台帳による。( )は前月比

集団資源回収運動の活性化に
奨励金制度を創設

市では、限られた資源を有効に利用し、地球の環境保全を図るため、資源のリサイクル運動を推進しています。今年六月から、これまで地域的に行われてきた集団資源回収運動の活性化と一層の推進を図るため、集団資源回収奨励金制度を創設し、この運動の支援をすることにしました。

今回の奨励金制度の対象となる団体は、営利を目的としない町内会、自治会、子ども会、老人クラブ、PTAなどの地域団体および再資源化を推進しようとする団体です。

ごみの減量化に大きな役割を果たす自治・町内会の集団資源回収

奨励金制度は、資源回収運動を実施した地域団体に、回収量一kgにつき三円を支払うものです。

対象品目は、表のとおりです。回収を実施する団体および回収業者はあらかじめ登録が必要になります。なお、新しく始める団体で回収業者の心当たりがない場合は、清掃課にご相談ください。また、回収品目や回収方法などについては事前に回収業者と相談してください。

◉実施団体の登録

集団資源回収を行う予定の団体は、団体名、代表者の住所・氏名、会員数、奨励金振込口座などについて清掃課で登録を行ってください。

集団資源回収はリサイクル活動の柱

ごみの再資源化（リサイクル）は、限られた資源を有効に利用し、地球の環境保全を図るとともに、ごみの量を減らすことができます。リサイクルを進めていくため、分別収集や空びんポストなどの市の資源化事業とともに、自治・町内会での集団資源回収運動は、ごみの減量化対策に大きく貢献し、再資源化運動の大きな柱になっています。

手引書の利用を

集団資源回収の進め方や登録の方法などについて、手引書を作成し、本庁舎・地区事務所・連絡所に用意してありますのでご利用ください。

問い合わせ 清掃課（☎内線2754番）へ

対象品目
- ダンボール
- 古繊維
- ピールびん
- 新聞紙
- スチール缶
- 一升びん
- 雑誌・チラシ
- アルミ缶
- など

特別土地保有税
申告と納付は5月31日までに

今年一月一日現在、市内の土地を五千平方㍍以上所有している場合、地方税法により特別土地保有税の申告と納付が必要となります。

申告義務者 平成五年一月一日現在、市内の土地を五千平方㍍以上一所有している人（個人、法人を問いません）。なお次の土地は対象から除かれます。①市街化区域内の土地で昭和四十四年一月一日より前から所有している土地②市街化調整区域内の土地で昭和五十八年一月二日より前から所有している土地

所有とは登記の有無や取得の原因にかかわらず、現実に所有権があることをいいます。

申告・納付期限 五月三十一日

申告用紙は資産税課に用意してあります。なお、土地の利用状況により、非課税や納税の免除・猶予の扱いを受けられる場合があります。

問い合わせ 資産税課（☎内線2347番）へ

NEXT21のテープカットをする長谷川市長㊧とオープニング公演の初日を飾った「竹林精舎」㊨

新潟市民プラザ
オープン初日から大盛況

待望のNEXT（ネクスト）21と新潟市民プラザが今月一日オープンしました。オープン初日から同ビルには行列ができるほどの大盛況。同プラザのオープニング公演にも九日間で5500人が訪れるなど、文化・情報発信基地として大いに期待されます。

新潟市民文化会館
コンペ応募作品を公開

（仮称）市民文化会館および周辺整備に関する公開提案競技の応募作品を、五月三十日から六月一日まで市民プラザで公開します。

公開するのは、最優秀賞に輝いた長谷川逸子さんの作品をはじめとする三百九点。二十一世紀に向け、文化活動の拠点として期待される同会館を描いた優れた作品をぜひご覧ください。

日時 五月三十日～六月一日午前十時～午後五時
会場 新潟市民プラザ
問い合わせ 市民文化会館整備課（☎内線2163番）へ

ご利用ください
企業ガイドブック

来春新卒採用予定の新潟の企業三百十八社を紹介した、ガイドブック「新潟の企業」を配布しています。就職活動の参考にご利用ください。部数に限りがありますのでお早めにどうぞ。

配布場所 勤労福祉課（第一分館三階）、地区事務所、新潟公共職業安定所
問い合わせ 市雇用促進協議会（勤労福祉課内☎内線2534番）へ

常設展「心象の世界―幻想と象徴」から
今週の一点⑧

三尾公三（みおこうぞう）
「画室の女」一九八二
※同作品は六月六日まで同館で展示中

画家三尾公三は、日本画から油彩画、そしてセメントによる抽象表現へと移行し、六十年代半ばから、今日の表現技法で描いています。写真表現かと見まがう、アクリル絵具の吹付けによる三尾さんの絵画は、いまや写真週刊誌の表紙絵としてなじみ深いものです。

この作品では、ひとつの画面に昼夜を同時に提示し、幻影のような裸婦と写実的なレモンとの対照で幻想性を高めています。三尾さんが、心理的な時間と空間を簡潔に描出した、代表的な一点です。（市美術館）

市役所・市教育委員会
☎228-1000（代表）

野球場・テニスコートの申し込み…266－8111
園芸センター…286－1034
東保健所…243－5311
石山地区保健センター…286－4450
鳥屋野地区保健センター…285－2373
北地区保健センター…259－7332
西保健所…266－5171
西地区保健センター…262－3405
坂井輪地区保健センター…260－3255
急患診療（市医師会・県歯科医師会）
急患診療センター…228－2822
休日歯科診療センター…283－3030

電話案内

市民友好の翼

新潟・ガルベストン委員会では、姉妹都市ガルベストンへの友好の翼をこの夏に飛ばします。

期間 8月21日～28日
定員 20人 **旅行費用** 192,000円
訪問先 ガルベストン（ホームステイ）、サンフランシスコ
申し込み 同委員会（新潟国際友好会館☎225－2777）へ

訂正

5月9日付本紙で掲載した、新潟テルサ職員募集の受験資格で、高校・大学を来年3月31日までに卒業見込みの人は、今年3月31日までに卒業した人の誤りです。おわびして訂正します。

問い合わせ 勤労福祉課（☎内線2539番）へ

点訳講習会

日時 5月23日～8月1日毎週日曜日午後1時～4時
会場 市社会福祉センター（八千代1）
対象 高校生以上先着40人
参加費 2,000円
申し込み 市ボランティアセンター（☎243－4370）へ